

岩崎地区地域農業マスタープラン

市町村名	集落/地域名	当初作成年月	更新年月(1回目)	更新年月(9回目)	更新年月(10回目)	更新年月(11回目)	更新年月(12回目)
北上市	岩崎地区	平成24年12月	平成25年2月	平成29年2月	平成29年9月	平成30年2月	平成31年2月

1. 地域における担い手の確保状況

担い手は十分確保されている / 担い手はいるが十分ではない / 担い手がいない

2. 将来の農地利用のあり方

取組事項	対応	＜その他記載欄＞
担い手に集積・集約化する	○	
担い手の分散錯圖を解消する	○	
新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する		
耕作放棄地を解消する	○	
その他[右欄に自由に記載]		

3. 2についての農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応	＜その他記載欄＞
地域の農地所有者は原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	
農地をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	
担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	
その他[右欄に自由に記載]		

4. 今後の地域農業のあり方

今後の地域農業のあり方(地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者のあり方)		
取組事項	対応	コメント
複 合 化	○	＜現状＞ 当該地区は、用排水路のパイプライン整備事業にともない、農地集積の向上を推進しており、水稲を中心に土地利用型作物による水田利用が図られています。畜産農家も多いことから、牧草などの飼料作物の作付ほか、アスパラガスや小菊などの園芸作物の生産面積も維持しており、市内の中でも多品目での農地利用が図られている地区です。
6 次 産 業 化	○	＜今後の取組＞ ①水稲についてはJAの栽培体系による米づくり、大豆と麦については単収増加の技術の普及拡大、飼料用米については直播栽培を導入して、低コスト・多収量生産の土地利用型農業を推進します。
高 付 加 価 値 化	○	②畜産農家が多いことから、ブランド力強化の取組を推進し、畜産部門の農業所得の向上を目指します。 ③アスパラガスについては、畜産農家との連携を強め堆肥活用による生産の拡大を図るとともに、新規栽培者の掘り起こしによる産地拡大を図ります。
新 規 就 農 の 促 進	○	④小菊、菌床しいたけ、ホップなどの園芸品目を導入する複合経営者が多いことから、農業者の仲間づくりなどの取組を通じて、地区全体の安定的経営を図ります。
そ の 他 []		⑤地元産のそば等を活用した特産品の開発や、農家レストランなどの6次産業化の取組を強化し、農業所得の向上と雇用促進を図ります。 ⑥上記①～⑤の取組を担保するために、個人経営体の世代交代や新規就農者の確保・育成に取組を推進します。また上記⑤においては、農家女性の活力を活かした農村づくりを目指します。